

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 にっこりパンピーノ

|          | チェック項目                                                                                                                          | はい | いいえ | 工夫している点                                                                     | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                     | ○  |     | 利用定員に対して適切なスペースを確保している。児童の様子を見ながら館内の設置物の配置を変えている。                           | 課題に取り組むスペースと余暇時間を楽しむスペースを分ける改善が環境的に好ましいと考えている。          |
|          | 2 職員の配置数は適切である                                                                                                                  | ○  |     | その日の利用人数に合わせたうえで、法令で定められた人員の配置に繋げている。                                       | 強度行動障害児の身体的成長に伴い、マンツーマンでの対応が増えているため、今後は従業者の増員も視野に入れている。 |
|          | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                              | ○  |     | こどもの態様に応じている。                                                               | 身体に配慮し段差をなくしたり、手すりを設置する等の工夫はしているが、今後も改善点を見出し是正する。       |
|          | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                           | ○  |     | 遊具、玩具など衛生面において清潔を保っている。                                                     |                                                         |
| 業務改善     | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                                                   | ○  |     | 月に1回ミーティングを恒例としており、欠席者は議事録を読んで承知している。                                       |                                                         |
|          | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                 | ○  |     | 要望や評価の低いところに関して月1回以上の全体ミーティングで、事前に課題をまとめ回答を導くようにしている。                       |                                                         |
|          | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                    | ○  |     | ホームページで開示している。                                                              |                                                         |
|          | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                                |    | ○   | 現在は行っていない。                                                                  |                                                         |
|          | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                   | ○  |     | 県主催「虐待防止」研修は必ず交替で参加している。他外部研修も積極的に参加している。                                   | 今後、職員の資質向上のためにより多くの研修に参加したいと考えている。                      |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | ○  |     | 職員間で利用者の様子を把握し、保護者とアセスメントを行い、職場内でのカンファレンスを実施した上で個別支援計画やモニタリング案を作成している。      | 半年に1回の面談が難しい保護者には、電話や送迎時に直接意見交換できる場を設けるなど配慮が必要と考える。     |
|          | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                   | ○  |     | フェイスシート、アセスメントシートや事業所独自の基本情報シートを2枚作成している。                                   | 基本情報シートは1年に1度更新をする。                                     |
|          | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○  |     | 通園しているこども園の担当者と意見を交わし、共有している。保護者との交流を常にとっている。職員間で話し合い、それぞれに合った課題を設定し支援している。 |                                                         |
|          | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | ○  |     | 保護者とアセスメントをして作成した個別支援計画を元に支援を実施している。                                        |                                                         |
|          | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | ○  |     | 職員間で意見を出し合って、活動プログラムを決定している。                                                |                                                         |
|          | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | ○  |     | 季節のイベントなども設けたり、利用者が楽しく参加できるような活動を考えている。                                     | 本人や保護者のニーズを踏まえた上で、それぞれに合ったプログラムも取り入れていきたいと思っている。        |
|          | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                                                                 | ○  |     | 職員間で話し合い、それぞれに合った課題を設定し支援している。                                              |                                                         |
|          | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                                               | ○  |     | 支援前ミーティングを行い、利用者の情報を共有し、その日の担当を決めている。                                       |                                                         |

|              |    |                                                                               |   |                                                                                                            |                                                         |
|--------------|----|-------------------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供     | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                           | ○ | 起きた出来事や気づいた点などの振り返りを、支援後ミーティングとして翌日午前に行っている。                                                               |                                                         |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                          | ○ | HUGシステムを活用しており、サービス提供記録および、保護者との情報共有や日々の記録として使用している。                                                       | HUGのアプリがダウンロードできるようになった事を保護者に順次お伝えする。                   |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                         | ○ | 定期的にモニタリングを実施し、児童の成長に合わせながら目標設定の適性やニーズを見直すことで必要があれば是正改善に繋げている。                                             |                                                         |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                             | ○ | まだサービス担当者会議が開催されていない                                                                                       | 開催があれば、会議に最もふさわしい者が参加する。                                |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                         | ○ | 現在関係機関はこども園のみである。その日の体調や本人の状況を送迎の際に確認している。                                                                 | 今後より多くの情報交換をする必要を感じている。                                 |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | 現在対象児童なし。                                                                                                  |                                                         |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | ○ | 現在対象児童なし。                                                                                                  |                                                         |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                 | ○ | 現在そのような取り組みを行っていない。                                                                                        | 機会があれば参加する。                                             |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                             | ○ | 現在そのような取り組みを行っていない。                                                                                        | 機会があれば参加する。                                             |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                      | ○ | 過去に支援内容で疑問や不明点が発生した場合は、専門機関に直接問い合わせ助言を受けた事がある。<br>今年度は該当する児童がいなかった。                                        |                                                         |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                      | ○ |                                                                                                            | まだまだ感染症へのリスクが想定される中で、他児童との交流を控えることが保護者のニーズではないかと認識している。 |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                       | ○ |                                                                                                            | 参加を検討している。                                              |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                | ○ | 日々の送迎の際に、情報を共有している。サービス提供記録でも詳しい支援内容を共有し、利用状況を見てもらえるようにしている。                                               |                                                         |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                    | ○ | 保護者との面談や事業所での支援で気付いたことがあれば、その都度保護者に情報を共有し自宅で活かせるようアドバイスをしている。また、自宅でのお子さまの状況で困りごと等がある場合は、いつでも相談できる体制をとっている。 |                                                         |
|              | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                    | ○ | 初回ご利用前に契約書を交わす際、事業重要事項説明書として丁寧に説明を行っている。                                                                   |                                                         |

|            |    |                                                                                                      |   |                                                                                                                                 |                                     |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | 保護者と共に考える姿勢を持ち、子どもや保護者に対する丁寧な説明をし同意を得て記名・押印をもらっている。                                                                             |                                     |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                        | ○ | 保護者との連携はHUGシステム上でのやりとりをメインとしているが、気になることや相談があれば、その都度メールやLINE等でも随時対応している。                                                         |                                     |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                                         | ○ |                                                                                                                                 | 現況、希望者がいない。<br>今後、希望者がある場合は開催も検討する。 |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | ○ | 現在、特別な相談はないが、いつでも相談を受け入れられる体制が整っている事を、保護者にも伝えている。                                                                               | これまで以上に相談のしやすい関係を築いていけるよう努力する。      |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                                                     | ○ | HUGシステムを通して発信している。                                                                                                              |                                     |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                                                    | ○ | 職員（パート含む）・外部講師・介護体験の大学生には、児童の個人情報保護に関する留意点を予め説明し周知している。<br>個人の顔が写っている写真は、HUGシステム内個別のサービス提供記録で自身のお子様のみ見る事が可能で他の画像は見られない設定になっている。 |                                     |
| 保護者への説明責任等 | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                                                 | ○ | 児童の特性に配慮した伝達方法を実施している。<br>保護者との意思の疎通や情報伝達にも十分に配慮している。                                                                           |                                     |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                                                   | ○ | 事業所の近くを散歩する中で顔を合わせる近隣住民とは欠かさず挨拶をし良好な関係が築けていると思う。                                                                                |                                     |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                  | ○ | その都度最新の情報を保護者に提供し、各家庭に事前に配布した保護者ファイルに綴り込みを依頼する。                                                                                 |                                     |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                                                   | ○ | 1年に2回、様々な非常事態を想定した避難訓練を実施している。                                                                                                  |                                     |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                                                    | ○ | 基本情報シートで年に1回本人の服薬の情報等について細かく確認している。また、変更があった場合などは保護者にその都度共有してもらっている。                                                            |                                     |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                                                 | ○ | 現在対象児童なし。                                                                                                                       |                                     |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                                            | ○ | ヒヤリハット事例はその都度グループラインで内容を共有し、全体ミーティングで協議している。<br>ヒヤリハットがあった場合は、詳細を記録で残している。                                                      |                                     |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                                                   | ○ | 県市主催「虐待防止」研修は必ず参加している。<br>虐待防止委員会を設置し、職員一人ひとりが虐待防止への理解を深め適切な対応を行っている。<br>「虐待防止」のポスターを張り出した。                                     |                                     |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                           | ○ | 現在対象児童はいないが、身体拘束に該当する利用者がある場合にはその都度保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で個別支援計画に記載している。                                                          |                                     |